（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽療法UNICOまつど　児童発達支援・放課後等デイサービス　多機能型			
○保護者評価実施期間	2025年2月19日	～	2025年3月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	72名	（回答者数）	４６名（63.8%）
○従業者評価実施期間	2025年2月19日	～	2025年3月15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10名	（回答者数）	１０名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「子どもが主人公」であることをビジョンにし、「やりたい！」を尊重しながら自己決定を支援しています	子どもたちの自己選択や自己決定を大切にし、クリエイティブな表現活動を通じて自分を表現できる場を提供してる。自分で選んだ活動に取り組むことで、楽しみながら自己表現力や自信が持てるように支援している。	より良い支援のために、スタッフ同士の情報共有を深めるだけでなく、関係機関とも連携を強化すること。 また、保護者との信頼関係を深め、一緒に子どもの成長を見守る。安心してのびのびと活動できるよう、これからも寄り添いながら支援を続けて行く。
2	子どもの発達や支援に関する専門知識と豊富な経験を持つスタッフがそろっていること。多様な視点から子ども一人ひとりに合った関わりを考え、専門的なアプローチで成長をサポートしている。	専門性をさらに高めるため、大学教員による音楽療法士のスーパービジョンを定期的に実施しています。また、スタッフ全員で定期的な研修を行い、新しい知識や技術を学びながら、より良い支援ができるように心がけています。	他分野のとのつながりや外部研修へ積極的参加し、知識を深める。また、困った時に相談ができる環境を整えて行く。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルの作成や訓練も行っているが、実践ではスムーズな行動が行えるのかが課題である。また、保護者への周知が足りないと感じている。	緊急時の対応を行ったことがある職員は少なく、医療系の職員がいない。また、マニュアルは情報量が多いため、実際に対応する際に、スムーズに行動ができない可能性がある。	手順を分かりやすくしたフローチャートの作成、実践に近い訓練が必要だと考える。また、実際に緊急事態が起こった際に、スムーズに対応ができるよう、消防署などの協力を得て訓練を行ったり、緊急時の対応方法について周知をうことが必要だと考える。
2			
3			